

日本地図についての共感覚

岩崎 純一

2014年2月15日作成

掲載サイト:「岩崎純一のウェブサイト」

<http://iwasakijunichi.net/>

目次

1. 解説と共感覚のポイント
2. 各都道府県の共感覚色

1. 解説と共感覚のポイント

私は、日本地図についても共感覚を持っています。具体的には、各都道府県・市町村・山脈・湾・湖などの領域の形状（県境や海岸線の形状）に色が付いて見えるというもので、逆に、その共感覚色によってこれらの領域の形状や位置などを記憶しています。

これらの共感覚のほとんどが、幼少期・児童期に地図帳などの教材や図書館の日本地図を眺めていて身についたものです。

同じく地図関連の共感覚として、別掲の「世界地図についての共感覚」もご覧ください。

※ 次ページのポイント

○地図帳などで地図の形状を眺めていて身についた共感覚ではあるものの、共感覚色はそれらの地図帳に印刷された地図の色とは異なっていることが確認できている。

（共感覚の色彩そのものは独創である。）

○ただし、東日本の共感覚色が他と比べて理路整然としていたり（東北地方が緑系統、関東地方が青系統、甲信越地方が赤系統）、出身地岡山県のみが目立つ紺色であったりなど、早期に関心や愛着を覚えた概念からの影響は散見される。

（しかし、1990年前後までは、現在の「甲信越地方」と「東海地方」は地図帳などの教材やテレビの気象予報などにおいて「中部地方」と呼称されており、共感覚色が「中部地方」ではなく「甲信越地方」の領域を理解して身についたとは考えがたく、影響は想像以上に小さい可能性もある。）

これに対し、「世界地図についての共感覚」の解説では、世界地図についてはより一層直観像記憶的な共感覚によって知覚・認知している旨を記しているので、参照されたい。

○サイト内の「直観像記憶と共感覚」のページも参照されたい。

【画像引用元】

白地図専門店

<http://www.freemap.jp/>

2. 各都道府県の共感覚色

